

地元企業からの贈り物

あんずの里で植樹祭を開催

2月28日、株式会社キューヘンが、会社創立55周年の記念と、地元を愛する気持ちを込めた地域貢献の一環として、あんずの里で植樹祭を行いました。

当日は、キューヘンの社員のかたがたとその家族約170人が参加し、あんずの里の斜面にツツジ2000本、アジサイ250本の苗を植えました。急な斜面にもかかわらず、手際良く苗木を植え、みるみるうちに斜面に緑が広がりました。それぞれ花の咲く時期には、あんずの里を彩ります。



▲あんずの里市駐車場上段にツツジとアジサイを植樹

子どもたちのために役立ててください

市民団体が手縫いの雑巾を寄付



▲小山市長に目録を贈呈する市民団体の代表者

3月2日、ごみ拾いや花の苗植えなどを行っている市民団体のマスカットグループ、津屋崎さざなみ会、ビーチクリーンズが、市内の保育所・幼稚園・小学校で役立ててほしいと、手縫いの雑巾560枚を市に寄贈しました。

目録を受け取った小山市長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます」と話していました。



▲菅官房長官(中央)への要望



▲青柳文化庁長官(右端)への要望

新原・奴山古墳群を世界遺産に

国への要望活動を行いました

2月20日、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議の小川会長(福岡県知事)、小山副会長(福津市長)、谷井副会長(宗像市長)と推進委員である石原福岡経済同友会代表幹事、および宮内秀樹衆議院議員らとともに、遺産群をユネスコへ推薦するように、麻生副総理兼財務大臣(代理秘書官)、菅官房長官、藤井文部科学副大臣、青柳文化庁長官、大家参議院議員に要望しました。

小川知事から新原・奴山古墳群を含む「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が持つ高い価値や、地元でも登録に向けた機運が盛り上がっていることなどについて説明され、平成29年度世界遺産登録の実現に向けて、平成27年度にユネスコへ推薦していただくように要望しました。

菅官房長官からは、「8万点にもおよぶ国宝の存在が素晴らしい。(沖ノ島については)知っている。がんばってください」との激励をいただきました。

市民広報 ボランティア

オープンガーデン



花に囲まれて趣味のガーデニングを楽しんでいる塩川さんを紹介します。

取材した3月はまだ寒いですが、春に備えて草花の種付け・植え替え、土壌作りと忙しそうです。夫婦揃って好きな花を育てようと西福岡に移り住んで5年。今では同じ趣味の人たちが訪ねて来ておしゃべりするのが楽しみだそうです。

今はクリスマスローズが満開で、20種類55鉢が花を咲かせています。「いつでも見に来てください」と玄関もオープンになっています。住所は西福岡3丁目3-20です。

【福岡信一】

松の苗木の植樹祭



2月28日、花見が浜の松林で福岡地域郷づくり推進協議会主催の植樹祭があり、育成会やシニアクラブ、地域のかたなど100人以上の参加者で260本の苗木を植えました。子どもたちの手で植えた苗木には自分の名前を書いた名札を下げました。植林の意識をしっかり持って、10年後20年後の成長を見守ってほしいと思います。

最後に婦人部の皆さん手作りの熱々の豚汁をいただきました。お菓子のプレゼントやビンゴ大会もあり、楽しい休日でした。

【徳永孝志】

上西郷地区“教養の会”



3月1日、上西郷公民館で“教養の会”が開催され、講師として(公財)日本オリンピック委員会ナショナルコーチの小田勝美さんによる講演がありました。

“勝利への道 夢と感動～子どもから大人まで夢を持つことの大切さ～”を演題に、小田さんのバレーボールに対する熱意、モントリオールオリンピック大会に出場し、4位でメダルを獲得できなかった悔しさ、今後、リオ・東京オリンピックでメダルを獲得する策などユーモアあふれる講演をされ、参加者一同楽しい時間を過ごしました。

【有吉敏高】

津屋崎千軒謎解き脱出ゲーム



2月22日から津屋崎千軒で謎解き脱出ゲームが開催されています。千軒に隠された問題を解き、秘密結社インシラによって作られた壁を破壊して脱出するゲームです。

私も2月25日に参加してきました。津屋崎千軒なごみで受付スタートし、風情ある古い町並みを歩きながら、暗号などの謎解きを体験しました。頭を使いながら自分のペースで津屋崎千軒を満喫することができ、楽しい一日になりました。

脱出ゲームは5月6日まで開催されています。参加費は1チーム200円。参加してみたいかがでしょうか。

【中山和恵】

みんな大好き!
わが家の宝



(写真左から)
 まつだ ぞつしん 松田 爽伸ちゃん 平成25年10月29日生 4人で仲良くね!
 まつだ けんしん 松田 健伸ちゃん 平成21年 5月29日生
 ほそみぞ ちせ 細溝 知世ちゃん 平成26年11月20日生
 まつだ りゆつしん 松田 琉伸ちゃん 平成20年 2月13日生 四角区

募集しています
 ●広報ふくつでは「みんな大好き!わが家の宝」に登場してくれる1歳から4歳程度のお子さんを募集しています。●[〇月号]に載せてという場合を除き、締め切りはありません。申し込みいただいた後の最新号に掲載します。●誕生日など、掲載号をご指定の場合は、誕生日の前月1日までに申し込みください。●お子さんの名前・住所(行政区)・生年月日・お子さんへのメッセージに写真を添えて申し込みください。
【申込・問い合わせ】 市広報秘書課(福岡庁舎) ☎0940・43・8113

日々の厳しい練習の成果が結実
全日本チアダンス選手権大会で優勝しました



▲小山市長に優勝を報告した長田萌々子さん(中央)
 第14回全日本チアダンス選手権大会のPom部門中学生Large編成の部で、福岡東中学校1年の長田萌々子さんが所属するDouble D Vanilla(ダブルディー バニラ)が優勝しました。長田さんは、小学生の時から古賀市にある同チアダンスクラブで日々の厳しい練習に励みながら、中学生となったこの大会で全国ナンバーワン、そして「JCDA(グランプリ)賞」の二重の栄冠をチームメイトと共に手にしました。今後の活躍に期待しています。

めざせ世界遺産!
「宗像・沖ノ島と関連遺産群1日めぐり」がありました

福津市・福岡県・宗像市が共同で設置した「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議が、3月15日に「宗像・沖ノ島と関連遺産群1日めぐり」を開催し、500人以上の参加者がありました。大島の沖ノ島遙拝所では、春がすみの影響で沖ノ島を確認することはできませんでしたが、参加者は宗像大社中津宮や大島の漁師路地裏めぐりを堪能。福津市の新原・奴山古墳群では観光ボランティアガイドの解説を聞きながら、小春日和の古墳散策を楽しんでいました。



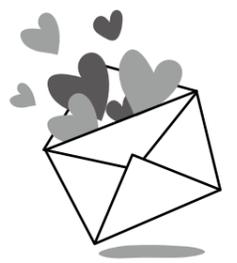
▲新原・奴山古墳群では観光ボランティアガイドが見どころを詳しく説明しながら巡りました

津屋崎千軒を訪れた際には、ぜひお立ち寄りください
「野菜cafeテラコヤナチュラ」がオープンしました



▲「心と体を癒やす野菜の力を存分に楽しんでほしい」と語る店主の中尾真理子さんと素材にこだわった自慢の料理
 2月22日、津屋崎千軒古民家に新しくオープンした「野菜cafeテラコヤナチュラ」。福津市の野菜をたっぷり使った体に優しい料理を、古民家の落ち着いた雰囲気の中でいただくことができるお店です。一押しメニューの「魚と旬の野菜の蒸し焼き」のほか、豆腐ハンバーグ、トマト焼きカレーなど、素材にこだわった料理を提供します。
■住所 津屋崎4丁目12番23号
■営業時間 10:00~17:00
■店休日 火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)
■問い合わせ 野菜cafeテラコヤナチュラ ☎0940・52・4234

市民広報
ボランティア



おたより寄せちゃってんしゅい

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゅい!ふくつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。
 ※誌面の都合により、掲載できないことがあります。
点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、必ず切手を貼って投稿してください。

お手数ですが
52円切手をお貼りください

POST CARD
 8 1 1 3 2 9 3

フリガナ _____
 ◎ 氏名 _____
 ◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女 _____
 ◎ ペンネームまたはイニシャル _____
 ※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。
 ◎ 住所 〒 _____
 ◎ 電話() _____

福津市役所広報秘書課
 広報広聴係 行

自由投稿コーナー
聞いてちゃってんしゅい!
ふくつ便
 自由投稿コーナー
 お問い合わせ
福津市広報秘書課
 (福岡庁舎)
 ☎0940・43・8113

あんず祭りで子ども和太鼓



3月15日、あんずの里市で「あんず祭り」がありました。オープニングイベントでは松崎万里子先生の指導で「福岡・津屋崎子ども劇場学楽遊」の皆さんによる和太鼓が披露されました。キリリと結んだ鉢巻に法被姿で芝生の会場に素足で登場し、気合十分です。幼児から成人まで23人がパートごとに全6曲を演奏。出演した森天伸君(小3)は「いつもより声が大きくなった」と練習の成果を存分に発揮できた様子でした。芦屋町の藤村さん親子は「太鼓を目当てに来て楽しかった」と満足気。勇ましい音で祭りを盛り上げてくれました。
【櫻井紀子】

宗像看護専門学校卒業式



宗像看護専門学校で3年間の学習と実務研修を無事終了した69人の卒業式が3月6日、カメラアホールで執り行われました。毎年、私は記録ビデオを撮影していますが、今年は特に胸にくるものを覚えました。一つは実務研修を終えて日が落ちてから学校に帰り、遅くまで復習する姿。もう一つは孫と同じ年代の生徒が大変な勉強をしている姿です。その中でも5人の皆勤者がいたのには喜びも湧いてきました。校長の式辞では、患者さんの人格を尊重し、患者さんと協力して医療を行うことの大切さについて訓示されました。
【山本武利】